

科目名	教科書名	副教材
中学2年 技術・家庭 【技術分野】	技術・家庭【技術分野】(開隆堂)	板金加工セット あんしんライト (ブザー付き)

## 1. 授業のねらい

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工，エネルギー変換，生物育成および情報に関する基礎的・基本的な知識および技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

## 2. 授業のすすめ方

1. 材料と加工に関する技術について製作品の設計・製作
2. コンピュータを利用したマルチメディアの活用について
  - (ア) ICT 機器を利用した作品の記録や作品紹介の手法を学習，活用
  - (イ) プログラムによる計測・制御について実習や小テスト等で確認
3. エネルギー変換に関する技術について
  - (ア) エネルギー変換機器の仕組みと保守点検の内容を，小テスト等で確認
  - (イ) エネルギー変換に関する技術を利用した製作品の設計・製作

## 3. 学習上の留意点

1. 授業中は授業担当者の指示に従い，指示が必ず通るようにしておくこと（理解できなかった説明をそのままにせず，その場ですぐに確認すること）。
2. 授業中は事故防止の為以下の行為は禁止する。
  - (ア) 授業担当者の指示の妨害（作業説明中の私語），実習室で走る，ふざける
  - (イ) 実習中，実習外での工具・PC等の無断使用や無断借用
  - (ウ)（担当教員が指示した場合）固定されていない頭髮（長髪），作業上危険な服装
3. 週の時間数が少ないので忘れ物はしないこと（忘れた場合は授業時間前に報告）。
4. 提出物は提出期限内に提出すること（報告・連絡・相談を密に行うこと）。
5. 実習中に実習に関連したコミュニケーション（アドバイスや検査など）を積極的に生徒間，生徒・授業担当者間で行うこと。
6. 担当教員の許可を得ない授業の録音・録画，写真の撮影は認めない。
7. ID・パスワードを忘れない事（無くさない事）。

～Computer garden の ID・パスワードに関して～

IDに使用する生徒証記載の『生徒番号』を教科書の名前の下に転記する。

設定するパスワードは暗記(半角英数字8文字以上・大文字と小文字の区別あり)。

～NU-MailG のアカウントに関して～

- ① 授業で配布されたアカウント情報の写真を大きめに撮る（ブレ・ボケ×）。
- ② ①の写真をクラウド上（ロイロノートの自分の「資料箱」の中）に保存する。（クラウド上に保存されれば端末故障時でもデータが消えてしまわないから）
8. 授業を欠席・公欠した場合は授業内容を次回の授業前までに確認し，必要であれば授業担当者の指示を仰ぐこと（進度によっては補習が必要になるため）。

## 4. 副教材

板金加工セット（山崎教育システム株式会社）

あんしんライト（ブザー付き）（山崎教育システム株式会社）

5. 評価の視点・課題等 ※学期毎の評価は、家庭科との合算  
以下の項目に基準を設け、小テスト・平常点と合わせて評価する。

- 1) 作品（プリント等の提出物含む）の過程と仕上げ
- 2) タブレット端末やPCのソフトウェアを使用し、課題の設計・製作の過程と作品

6. 定期考査  
実施しない。

7. 授業計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一 学 期	4	<b>A 材料と加工に関する技術</b> 3 設計	金属加工 ・けがき ・切削 ・曲げ ・接合  ICT 機器を用いた 活動 ・製作過程記録 ・作品紹介	用途に合わせた設計 ができる。 工具を目的に合わせて 安全に使いこなし、 正確に加工すること ができる。 ICT 機器を活用し記録 をとることができる。
	5	5 製作（板金加工） ①部品表と工程表		
	6	②けがき③切断④切削⑤穴あけ ⑥部品の検査と修正		
	7	⑦組み立て		
二 学 期	9	<b>B エネルギー変換に関する技術</b> 1 私たちの生活とエネルギー変換	小テスト   作品の完成度 ・製作過程点検 ・動作点検記録	内容を理解できる。   はんだづけ・テスター の使い方をマスター する。
	10	2 電気エネルギーの利用 3 動力の利用 4 エネルギー変換の実際		
	11	5 製作品の構想と設計製作		
	12			
三 学 期	1	<b>D 情報に関する技術</b> 4 情報モラルと知的財産	小テスト プログラム課題   ※忘れ物・授業態度 等は、平常点とす る。 (20%程度)	内容を理解できる。 プログラムの基本的 な構成やフローチャ ートについて理解で きる。  ※製作系の授業と情 報の授業は進度等 によって適宜交換する。
	2	5 コンピュータと情報処理 7 プログラムによる計測・制御		
	3	8 情報に関する技術の評価・活用		

※他教科との連携や授業進度、生徒の理解度によって内容の変更・省略をする場合がある。